

京都府知事 西脇 隆俊 様

団体を代表する方の職名を必ず記載してください。（「代表」「理事長」「実行委員長」「会長」等）。定款や規約、会則等で定められている役職名を記載してください。

申請者	郵便番号	000-0000	
	所在地	宇治市〇〇〇10番地	
	団体名	(フリガナ)	
		一般社団法人 ●●●●	
代表者	職名	氏名	(フリガナ)
	代表理事		〇〇〇〇

### 令和3年度京都府文化チャレンジ補助金交付申請書

文化チャレンジ補助金交付要綱に基づき、下記のとおり、補助金の交付を申請します。

事業名を必ず記載してください。

1	事業の名称	〇〇〇〇〇〇
2	補助金交付申請額	別紙1の3「補助金交付申請額」の「G」の金額を記入。 金 <input type="text" value="200000"/> 円
3	事業計画書	別紙1のとおり
4	事業収支予算書	別紙2のとおり
5	添付資料	団体の概要が分かる資料、定款又は定款に類する規約等、団体構成メンバー一覧 事業実施メンバー一覧

## 事業計画書

### 1 申請者の概要

実務担当者と必ず連絡がとれる連絡先(電話番号、メールアドレス等)を記載してください。

申請者	団体名	一般社団法人 ●●●●●●										
連絡先	担当者名	●●●●●●										
	電話番号	090	—	000	—	0000	FAX番号	075	—	000	—	0000
	E-mail	●●●●●●		@	●●●●●●●●							
過去の活動実績		年月日	活動概要									
※書き切れない場合は、別紙を添付してください。 ※過去の実績の分かるチラシ、写真などがあれば添付してください。		2008年4月	前身となる〇〇実行委員会を中京区で立ち上げ									
		2008年12月	初の展覧会「▲▲▲」をギャラリーA(中京区)にて開催									
		2011年4月	一般社団法人化									
		2012年4月	拠点となる展示施設を京都市中京区に開設。年間約20本の展覧会を主催。その他展覧会企画多数(別紙のとおり)									
		2020年4月	所在地を宇治市に移転									
2020年8月	八幡市●●にて無観客展覧会のWEB発信を実施											

### 2 事業内容等

事業の名称	〇〇〇〇〇〇										
事業内容 ※書き切れない場合は、別紙を添付してください。	趣旨	●●することを目的とする。 事業の目的を記載してください。									
	開催日時	令和3年●月●日 ●時～●時									
	実施場所(会場)	京都府宇治市(ギャラリー●●●)									
	参加見込人数	〇〇〇人									
	内容	※チャレンジする内容について詳しく記入してください。用紙が不足する場合は行を増やしてください。 ※申請事業が募集要項P1～2に記載している対象事業の内容(6)ア～エのいずれに該当するか本欄に記載してください。 ※市町村の後援等支援を受ける予定の場合は、その内容をご記入ください。 ※前年度助成を受けている場合は、別添振り返しシートも提出してください。									

申請書(第1号様式)の「事業の名称」と同一のものを

スタッフの人数は含めな  
いでください

事業着手日(発注や契約はこの日付以降)	令和3年4月1日	事業完了日(納品書・請求書の日付はこれ以前)	令和4年2月13日
事業実施により見込まれる効果	<p>※効果を具体的に記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>「事前着手届」の「事前着手日」と一致させてください。</p> </div>		
事業の持続可能性	<p>※申請する事業を今年度実施し、今後、どんな事業につなげていこうとしているのか。事業の今後の発展見込みについて記載してください。</p>		

<b>3 補助金交付申請額</b>		
補助対象経費(予算書の(i)の金額)	A	1,375,920
当該補助対象事業に係る収入 (予算書の(iii)+(iv)の金額)	B	430,000
差引額(A-B)	C	945,920
シ×補助率(3分の2) (京都市内で実施する事業は2分の1)	D	630,613
補助限度額	E	200,000
DとEのいずれか少ない額	F	200,000
補助金交付申請額	G	200,000

※注1 A欄は、「別紙2事業収支予算書」の「支出の部」の「補助対象経費計(i)」欄の額を記入  
 ※注2 B欄は、「別紙2事業収支予算書」の「収入の部」の「市町村等補助金(iii)」と「補助金事業に係る収入(iv)」欄の合計額を記入  
 ※注3 D欄は、1円未満の端数を切り捨てた額を記入  
 ※注4 G欄は、Fの欄の1,000円未満を切り捨てた額を記入  
**※欄に書き切れない場合は、セルの高さを広げるか、別紙を添付してください。**

### 事業収支予算書

1 収入の部

(単位：円)

区分	予算額	内訳
文化カレッジ補助金 (別紙1「事業計画書」の「G」の金額)	200,000	同一の経費について、国や京都府が助成する他の補助金等と重複して対象とすることはできません
市町村等補助金 (iii) ※事業に関する協賛金を含む	100,000	〇〇市文化振興補助金
補助対象事業に係る収入 (iv)	330,000	チケット1000円×300人 参加者負担金3000×10人
自己資金	545,920	
その他 ※団体運営全般に対する寄付金等	200,000	寄付金
<b>合計</b>	<b>1,375,920</b>	<b>★</b>

予算の積算根拠が分かるように、単価や数量を記載するようにしてください。

2 支出の部

(単位：円)

区分	予算額	内訳 (数量・単価など)	
補助対象経費	225,000	展示アーティスト謝金 5,000円×5時間×3日×3人	
	30,000	記録冊子原稿作成謝金 10000円×3人	
	79,920	ゲスト出演者旅費 (東京～京都新幹線) 1往復×3人	
	40,000	チラシ印刷代 (8円×5000枚)	
	75,000	記録冊子印刷代 (250円×300冊)	
	10,000	消耗品費 (紙代、文具代)	
	20,000	展示台材料費 (木材)	
	6,000	印刷物発送費	
	20,000	作品運搬費	
	30,000	翻訳代	
	60,000	会場設営・撤去作業委託費 (2名×1000円×6時間×5日)	
	50,000	記録冊子デザイン費	
	30,000	チラシデザイン費	
	550,000	特設WEBページ制作費 (添付の参考見積書参照)	
	150,000	会場使用料 (50000円×3日)	
	1,375,920	→別紙1「事業計画書」の「A」の欄に記入する金額	
	補助対象外経費 (ii)		
	<b>合計 (i + ii)</b>	<b>1,375,920</b>	<b>★</b>

収入と支出の合計額は必ず一致させてください。

高額の委託料は、参考見積を添付し

注 1の「合計」欄の額と2の「合計 (i + ii)」の欄の額は一致させてください (★印の額を一致させる)

※欄に書き切れない場合は、セルの高さを広げたり、行数を増やしてください。また、内訳については、参考様式を活用して、別紙として添付いただいても結構です。

京都府知事 西脇 隆俊 様

申請書(第1号様式)の申請者と同一の内容となるようにしてください。

ゆうちょ銀行の場合は、通帳に記載の記号・番号ではなく、「振込用の支店・口座名・口座番号」を記入してください。

申請者 ☆	郵便番号		
	所在地		
団体名	(フリガナ)		
代表者	職名		(フリガナ)
	氏名		

### 口座振替依頼書

京都府文化チャレンジ補助金については、下記口座に振り込んでください。

金融機関名			
支店名			
口座種別	いずれかに○を付けてください→ 普通預金 / 当座預金		
口座番号			
口座名義★	(フリガナ)		団体代表者や団体会計担当者等、個人の名義の口座の場合は、委任状が必要です。

※通帳に記載されている内容を十分に確認の上、正確に記載してください。  
 ※口座情報に誤りがある場合には、振込ができません。

※口座名義(★)が、補助申請者(☆)と異なる場合等は、下記の委任状の記入が必要となります。

※任意団体等で、団体代表者や団体会計担当者の個人名義の口座を、団体の経理用の口座として運用している場合は、委任状が必要となりますので、御注意ください。(☆と★が一致していない場合は委任状を提出してください。)

申請書(第1号様式)の申請者と同一の内容となるようにしてください。

### 委任状

口座名義人が、補助金申請者と異なる場合には、必ず委任状を提出してください。

委任者 (申請者☆)	所在地		
	団体名		
代表者	職名		団体の代表者印を 押してください。
	氏名		

団体代表者の印

京都府文化チャレンジ補助金の受領に関する権限を、下記の者に委任します。

受任者	住所	
	口座名義★ ※「口座振替依頼書」の「口座名義★」と同一の内容としてください。	

京都府知事 西脇 隆俊 様

申請者	所在地			
	団体名			
	代表者	職名	氏名	

令和3年度京都府文化力チャレンジ補助事業 事前着手届

令和3年度京都府文化力チャレンジ補助事業について、別記条件を了承の上、下記のとおり交付決定前に着手したいのでお届けします。

事業名	必ずチェックを入れてください。		
右の「事前着手の理由」を確認の上、同意の上、チェックを記入してください。	<input type="checkbox"/> チェック「事前着手の理由」 申請事業については、速やかな事業実施が必要なため、交付決定前に着手しますので届け出ます。 なお、本件について交付決定がなされなかった場合においても異議は申し立てません。		
事前着手(予定)日(事業準備を含む事業開始日)	※令和3年4月1日以降の日付を記載していただき、 ※事前着手(予定)年月日以前	別紙1事業計画書の「事業着手日」と一致させてください。	交付対象外です。
	令和3年4月1日		

別記条件

- (1) 本事業については、補助金交付申請日から補助金交付決定を受けるまでの間において、計画変更を行わないこと。
- (2) 補助金交付決定を受けた補助金額が、交付申請額に達しない場合においても異議がないこと。